

クローズアップ NGO・NPO

東京日本語ボランティア・ネットワーク

代表 梶村 勝利

東京都内で活動するボランティア日本語教室・団体の
ネットワークです

概要

1993年11月に東京ボランティアセンター（現：東京ボランティア・市民活動センター（TVAC））が開催した「ぼらんていあ・めっせ」の分科会「日本語ボランティア」には、関心のある人々が会場に入りきれないほど大勢集まりました。

その熱気の冷めぬ翌12月に、改めて日本語ボランティア活動をしている人々が集まり、お互いに連携して情報交換・研修を行う場の必要性が話し合われ、東京日本語ボランティア・ネットワーク（TNVN）が設立されました。

以後、東京都内それぞれの地域で、言葉のため日常生活に不自由を感じている外国人等を、隣人として支援している団体のネットワークとして、相互の情報交換や活動の活性化を図ることを目的に活動を行っています。

TNVNは市民活動の任意団体で、東京都でボランティア日本語教室活動を実施している団体（正会員）および個人（協力会員）、また活動の趣旨に賛同する団体・個人（賛助会員）によって構成され、現在、正会員は84団体です。

TNVNの活動を支えるスタッフは全員、地域で日本語学習支援活動を行っているボランティアで、現在代表を含め10人です。毎週金曜日にTVACのロビーにメンバーが集まり活動を行っています。活動費は主に会員の年会費で、そのほかに個人からの寄付、また、大きな事業をするときは助成金に応募します。

活動内容

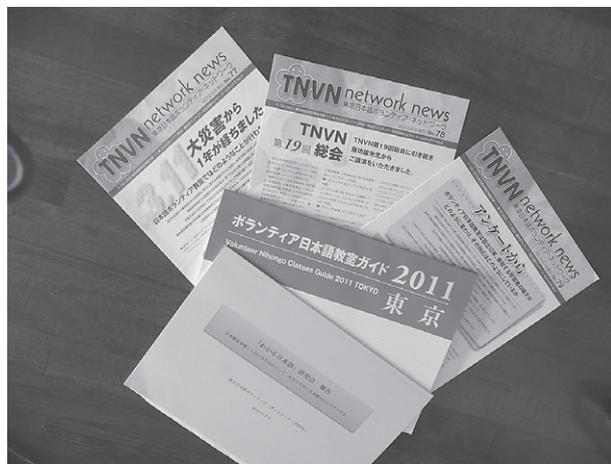
●日本語を学びたい人に学びの場を紹介

都内在住外国人には生活をする上で日本語を必要とし、学びたい人たちが大勢います。

滞在の形態・目的はさまざまですが、多くの人が地域のボランティア日本語教室に通っています。

学習のニーズは、生活に最低限必要なサバイバル日本語から、新聞が読めるほどの上級日本語まで、いろいろあります。

TNVNはこうした人たちの便宜を図るために都内で活動しているボランティア日本語教室・団体を調査、「ボランティア日本語教室ガイド 東京」を3～4年ごとに発行しています。



上から TNVN Network News
ボランティア日本語教室ガイド東京2011
「わかる日本語」研究会報告冊子

最新版には都内で活動する180団体・232教室を掲載・紹介しています。この冊子「ガイド」はボランティア日本語教室のほか、役所、図書館、

地域国際化協会、大使館等の公共施設に配布し、広く活用されています。またTNVNのホームページからも検索・問い合わせができます。

●機関紙

「TNVN Network News」を年4回発行し、会員からの活動情報、TNVNの活動報告・情報提供等を掲載しています（ホームページにも掲載）。

●ボランティア日本語教室での学習支援活動

週1回1.5～2時間程度の教室が一般的ですが、週に複数回活動しているところもあります。ボランティア教室では日本語の学習支援を行うほか、季節ごとの行事、国の文化紹介、見学・体験等々を行い、学習者（外国人等）・ボランティア同士の交流も図られています。

「情報はわかりやすい日本語で」

大震災等の情報では多言語化に加えて、「やさしい日本語」が注目され、自治体や公的機関でも対応がなされつつあります。

実は、ボランティア日本語教室では学習者から自治体・学校その他から配布される難解な日本語についての質問がよくあります。その場合ボランティアは学習者にわかるように説明することの難しさにしばしば悩まされています。

TNVNでは会員団体に「日本語ボランティア活動と外国人への情報提供」について調査し、「学習者の85%から“情報はわかりやすい日本語で書いてほしい”との意見がありました。

これらを受けてTNVNは「わかる日本語」研究会を2010年11月にスタートしました。

メンバーは、日本語ボランティア（TNVNスタッフを中心に）、日本語教育専門家、行政窓口担当者です。

まず、日本語原文を日本語能力が初級程度の方向けの日本語文にリライトする作業をしました。原材として東京都国際交流委員会のホームページに掲載されている「外国人ための生活ガイド」から「転ばぬ先の知恵」「緊急災害時の対応」を取

り上げ、その成果報告を冊子にしました（ホームページにも掲載）。

作業後の感想から

- *リライト作業は面白かったし、良い勉強、経験になった。平易に書き直したつमोरの文章を学習者に読んでもらったら、思いがけない箇所で「わからない」と言われて、リライトの難しさを実感した。
- *突然、自分がアラビア語の国で生活することになったことを想像しながら、リライトを考えました。きっとこのレベルの日本語が役に立ち、日本での良き生活をスタートしていただけたと思います。

自治体との協働と今後の抱負

日本語ボランティア活動は多文化共生社会での基本であるコミュニケーションの向上と隣人としての国際交流につながっています。

- 東京都国際交流委員会と共同運営する「国際交流・協力TOKYO 連絡会」に参加し、“国際化市民フォーラム in TOKYO”を企画・実施
- 東京都主催の“在住外国人支援のための合同連絡会議”に参加
- 新宿区の多文化共生施策の会議等への参加

これらの事業を通して自治体、地域団体、NGO/NPO・市民団体等との相互連携を深め、浮かび上がってくる課題（特に“生活とことば”）をTNVNでも取り上げていきます。



「わかる日本語」研究会のメンバーが円卓を囲んで